

## 農業

新しい機械や方法を用いた外海での農業

西出津変岳の開拓

当時農耕に使用したカルチベーター(外海歴史民俗資料館蔵)

ド・ロ神父が考案した農具の絵図(宮崎惣三郎画)

ド・ロ神父は、1884 年に出津北部の変岳裏の大平の土地を購入し、いくつかの農場を設立しました。ここで彼は、人々にフランスの新しい農具や農法を使った農業を教え、小麦、ジャガイモ、綿、そして茶などの生産を行いました。ド・ロ神父は、農具の使い方や、より効率的な農業の行い方を日本人画家に描かせ、農耕法を教えたと考えられます。これらの絵は、ド・ロ神父記念館にて、今でも見ることができます。彼は、当時日本では珍しかったイチゴやトマトなども栽培しました。

村人の健康にも配慮したド・ロ神父は、栄養価の高いクレソンを栽培しました。クレソンは出津で、ド・ロさまゼリと呼ばれていました。